

# 2008年度 日本草地学会若手の会夏合宿 報告

日本草地学会若手の会夏合宿（第2回）が2008年8月25～26日（木～金）、（独）農研機構 東北農業研究センター（岩手県盛岡市厨川）で28名が参加して開催されました。

## 8月25日（1日目）

13:00 東北農業研究センター「北辰興農閣」集合受付

13:30-14:00 開会式

- 1) 開会宣言
- 2) 若手の会開催にあたって  
東北農業研究センター 須山 哲男 氏
- 3) 事務連絡および諸注意

14:00-17:00 セミナー

「自然と共生した草地畜産の展開に向けてー若手研究者の取り組みー」

- 1) 「草原の町で学んだこと」  
東北農業研究センター 池田 堅太郎 氏
- 2) 「学術研究と実学研究の間でーポストクという立場からー」  
畜産草地研究所 中野 美和 氏
- 3) 「東北農研における畜産草地研究の一例の紹介」  
東北農業研究センター 出口 新 氏

4) 「いわて短角和牛の挑戦」

岩手大学農学部 村元 隆行 氏

5) 総合討論

18:00 - 懇親会

## 8月26日（2日目）

08:20 集合

08:30-12:30 現地見学

早坂高原、デントコーン栽培圃場、日本短角種放牧地など

12:30-13:30 昼食

13:30-14:00 閉会式

14:30 東北農業研究センター着、解散

14:00-15:30 東北農業研究センターの見学（希望者のみ）

1日目は、須山哲男会員（東北農研 研究管理監）の挨拶の後、「自然と共生した草地畜産の展開に向けてー若手研究者の取り組み」と題したセミナーを行った。

同セミナーでは、研究をはじめたころの草地学に対する考えや研究上の苦悩、組織による研究の進め方の違いと共同研究の提案、日本短角種との出会いとその魅力など、講演者がこれまでに感じた草地畜産研究に対する卒直な思いが研究内容と共に紹介され、活発に意見交換がなされた。



写真 「自然と共生した草地畜産の展開に向けてー若手研究者の取り組みー」



写真 セミナー終了後 懇親会にて

2日目は、東山雅一会員、魚住順会員、池田堅太郎会員、出口新会員、久保田明人会員（以上、東北農研）、尾張利行氏（岩手県畜産研究所）らの案内によって、早坂高原でのデントコーン不耕起栽培圃場や日本短角種の放牧地、東北農業研究センターを見学した。今回は、独法機関や大学だけでなく、県試験場、NPO 法人などから幅広く多様な分野の人が集まり、若手の会夏合宿は盛会のうちに終了した。



写真 デントコーン不耕起栽培圃場



写真 デントコーン不耕起栽培圃場にて説明をきく



写真 早坂高原での日本短角種親子放牧

最後に、今回の若手の会の開催に際し、皆様よりお志や差し入れをいただいた。事務局一同感謝申し上げます。また、若手の会の夏合宿開催を受け入れ、企画から、圃場・放牧場案内までして下さった東山雅一会員をはじめ、須山哲男会員、魚住順会員、池田堅太郎会員、出口新会員、久保田明人会員（以上、東北農研）、尾張利行氏（岩手県畜産研究所（東北農業研究センター））にこの場を借りてお礼申し上げます。

（日本草地学会若手の会事務局）



写真 2日目朝 出発前の集合写真